

Press Release

2020年12月2日

報道関係各位

ブロードマインド株式会社
代表取締役社長 伊藤 清

30-40代子育て世帯でも54.1%がライフプランニング“未経験” 一方で不安定な社会情勢を理由に、重要性を感じている方は63.3% 実施の障壁になっている要因とは？

～『人生設計（ライフプランニング）とお金』に関する実態調査～

保険・証券・住宅ローン、不動産と複数の金融関連商品を横断して1社で取り扱い、金融コンサルティングを行う「ブロードマインド株式会社」（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：伊藤清、以下当社）は、30代40代の子育て世帯111名を対象に、「人生設計（ライフプランニング）とお金」に関する実態調査を実施しました。

アンケート結果によると、一度もライフプランニングを行ったことがない方は約5割と半数に上りますが、その内ライフプランニングの重要性を感じている方は6割を超える結果となりました。背景には、社会保障制度や新型コロナウイルスの感染拡大に対する不安がある他、コロナ禍におけるリモートワーク普及に伴う住まいやキャリアの選択肢の広がりから「新しい生活様式への適用」も見据え、将来の見通しを立てることへの重要性を感じていることが窺えます。このように重要性を感じているものの実施にまで至らない理由は、ライフプランニング自体知らなかったから・やり方が分からないから、ということが主な要因となっていることが明らかになりました。

■トピックス

- ü お金について考える機会が多い子育て世帯でも、ライフプランニングの経験がある方はわずか**45.9%**。
- ü 一方でライフプランニングの経験がない方も、**63.3%**の人が「ライフプランニングは重要」と認識している
- ü その理由として、**50.0%**が「日本の社会保障制度に不安がある」と回答した他、「コロナ禍で将来がより不安になった」**34.2%**、「住居の選択肢が増えた」**23.7%**といった声も。
- ü 重要と感じつつも実施しない理由として「やり方がわからない、難しいから」が**31.7%**「そもそもライフプランニングという考えを知らなかった」**23.8%**の他、「時間がないから・後回しにしている」といった声も多数挙げられた。

Press Release

■調査概要

調査概要：「人生設計（ライフプランニング）とお金」に関する実態調査

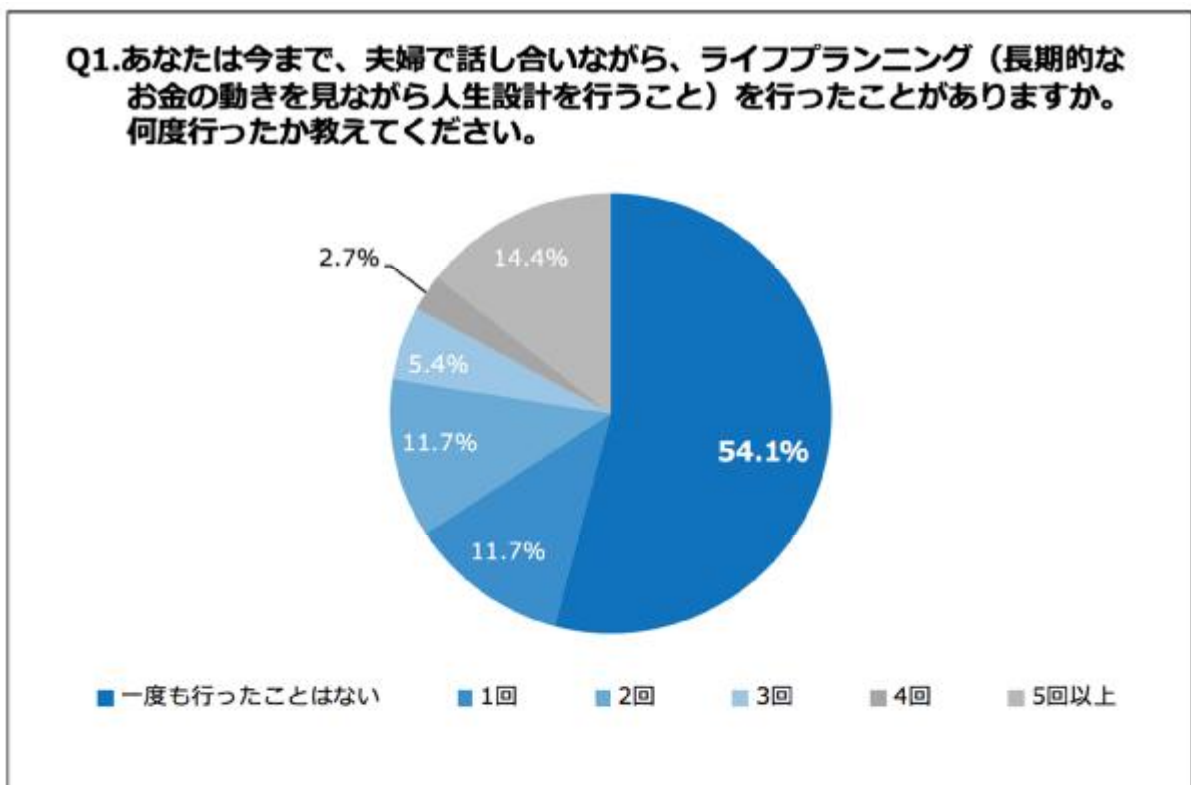
調査方法：インターネット調査

調査期間：2020年11月10日～同年11月13日

有効回答：30代40代の子育て世帯111名

▶今までライフプランニングを一度も行ったことがない人 54.1%

「Q1.あなたは今まで、夫婦で話し合いながら、ライフプランニング（長期的なお金の動きを見ながら人生設計を行うこと）を行ったことがありますか。何度行ったか教えてください。」（n=111）と質問したところ、「一度も行ったことはない」が54.1%という回答となりました。

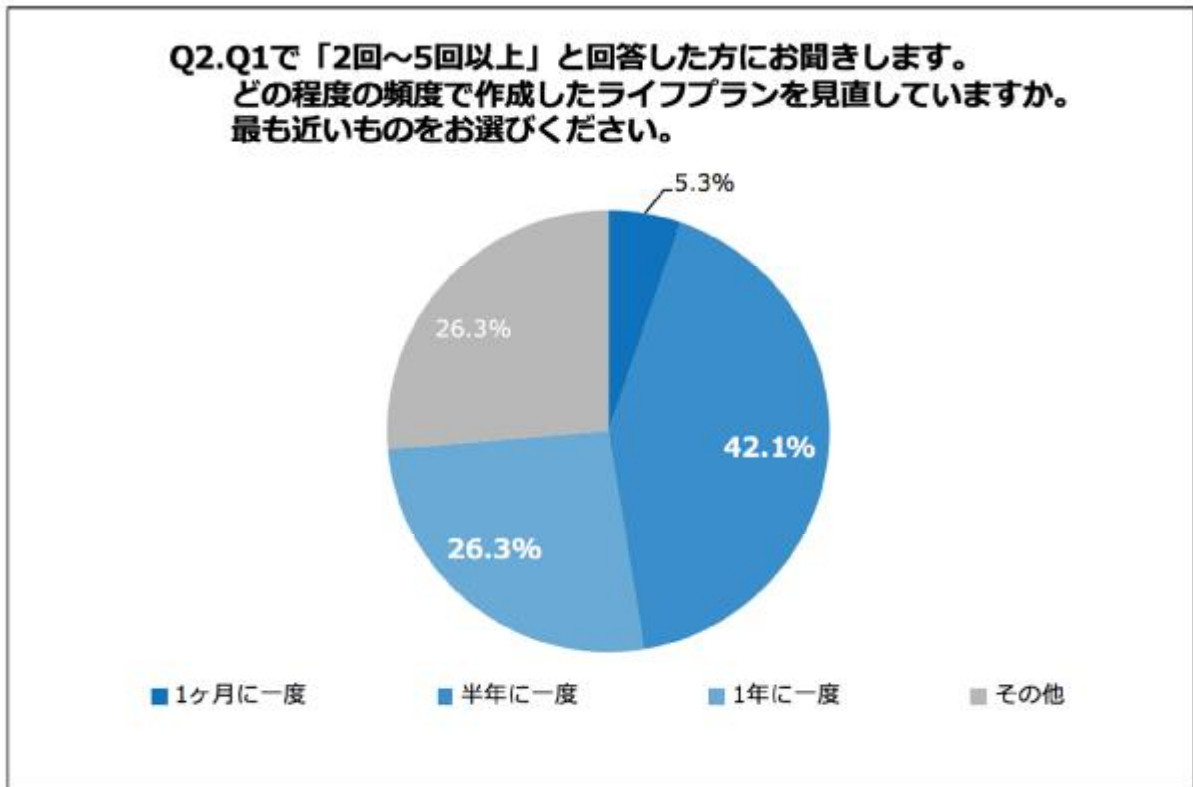


- ・一度も行ったことはない：54.1%
- ・1回：11.7%
- ・2回：11.7%
- ・3回：5.4%
- ・4回：2.7%
- ・5回以上：14.4%

Press Release

▶作成したライフプランの見直しは「半年に一度」が42.1%で最多、次いで「1年に一度」が26.3%

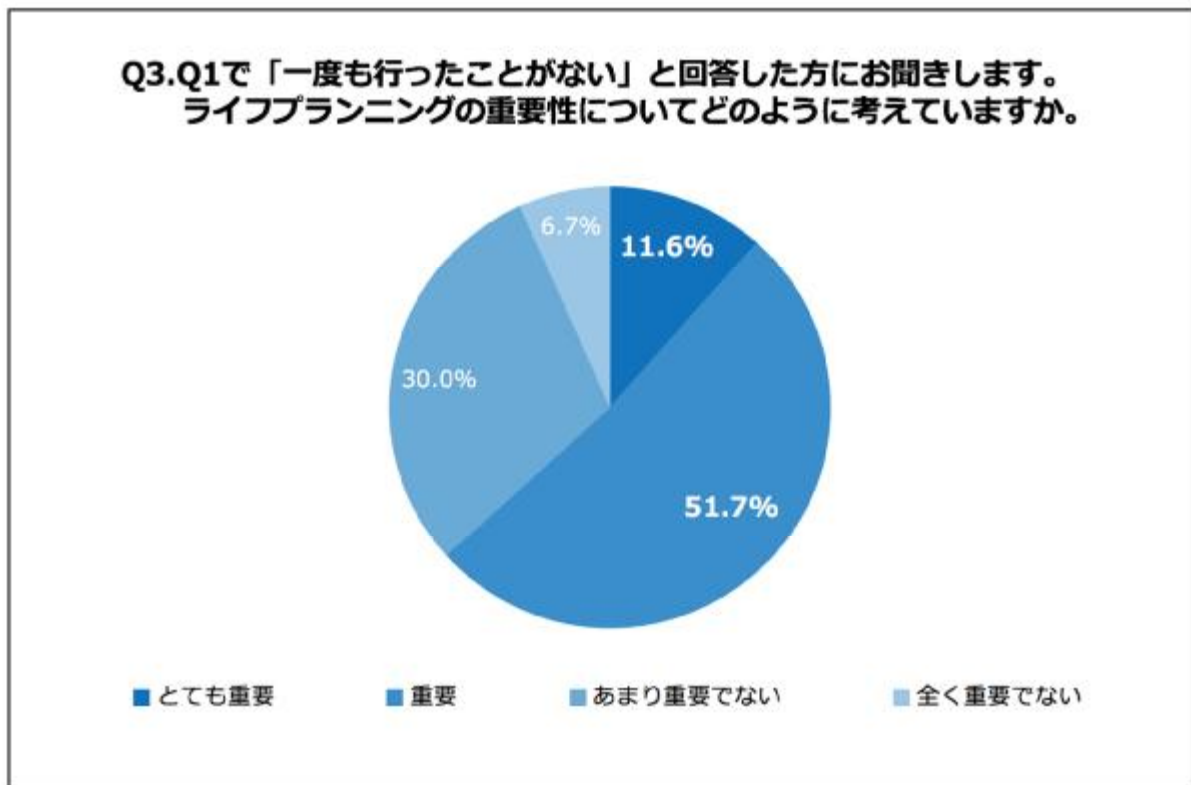
Q1で「2回～5回以上」と回答した方に「Q2.どの程度の頻度で作成したライフプランを見直していますか。最も近いものをお選びください。」(n=38)と質問したところ、「半年に一度」が42.1%で最多、次いで「1年に一度」が26.3%という回答となりました。



- ・1ヶ月に一度：5.3%
- ・半年に一度：42.1%
- ・1年に一度：26.3%
- ・その他：26.3%

Press Release

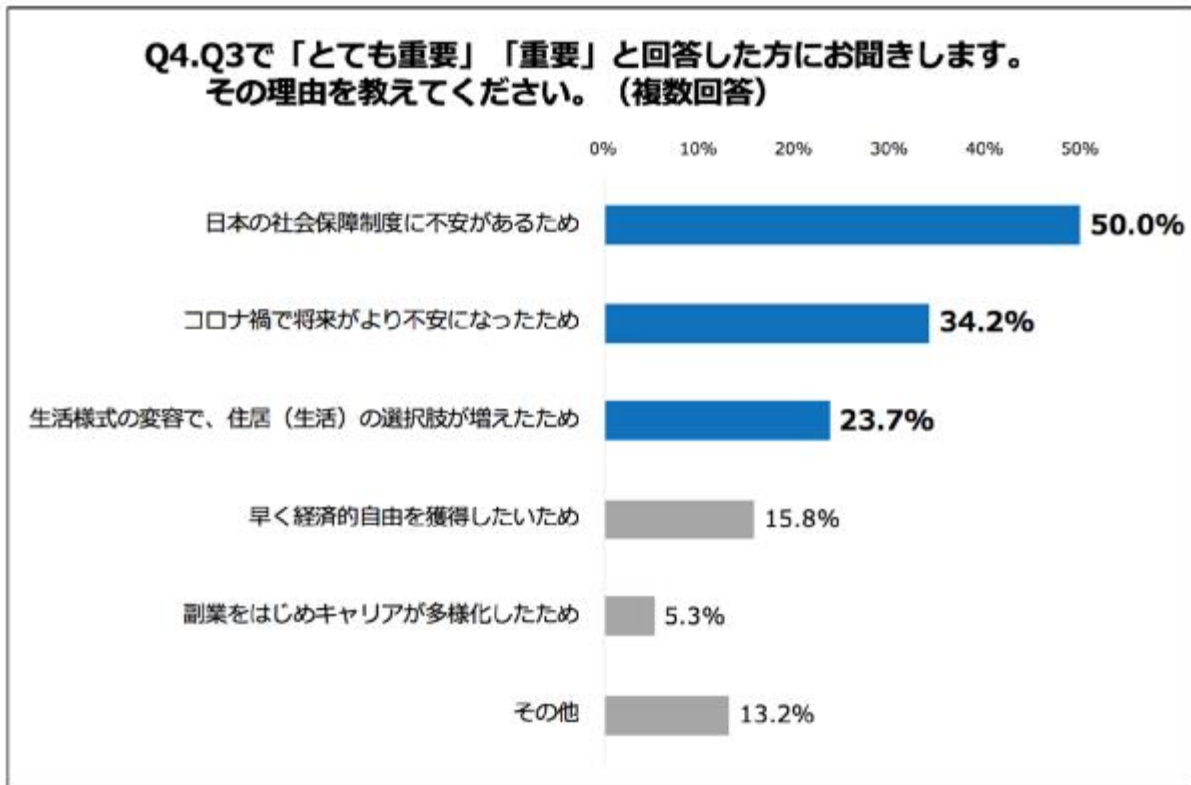
▶ライフプランニング未経験者でも、63.3%の人が「ライフプランニングは重要だ」と回答
Q1で「一度も行ったことがない」と回答した方に「Q3.ライフプランニングの重要性についてどのように考えていますか。」(n=60)と質問したところ、「とても重要」が11.6%、「重要」が51.7%という回答となりました。



- ・とても重要：11.6%
- ・重要：51.7%
- ・あまり重要でない：30.0%
- ・全く重要でない：6.7%

▶ライフプランニングが重要な理由、「日本の社会保障制度に不安があるため」回答5割
Q3で「とても重要」「重要」と回答した方に「Q4.その理由を教えてください。(複数回答)」(n=38)と質問したところ、「日本の社会保障制度に不安があるため」が50.0%、「コロナ禍で将来がより不安になったため」が34.2%、「生活様式の変容で、住居(生活)の選択肢が増えたため」が23.7%という回答となりました。

Press Release



- ・日本の社会保障制度に不安があるため：50.0%
- ・コロナ禍で将来がより不安になったため：34.2%
- ・生活様式の変容で、住居（生活）の選択肢が増えたため：23.7%
- ・早く経済的自由を獲得したいため：15.8%
- ・副業をはじめキャリアが多様化したため：5.3%
- ・その他：13.2%

他にも「年金があてにならない」「ライフプランがなければ未来が描けない」の声

Q3で「とても重要」「重要」と回答した方に「Q5.Q4で回答した以外に理由があれば、教えてください。」（n=30）と質問したところ、「年金があてにならない」や「ライフプランがなければ未来が描けない」などの回答を得ることができました。

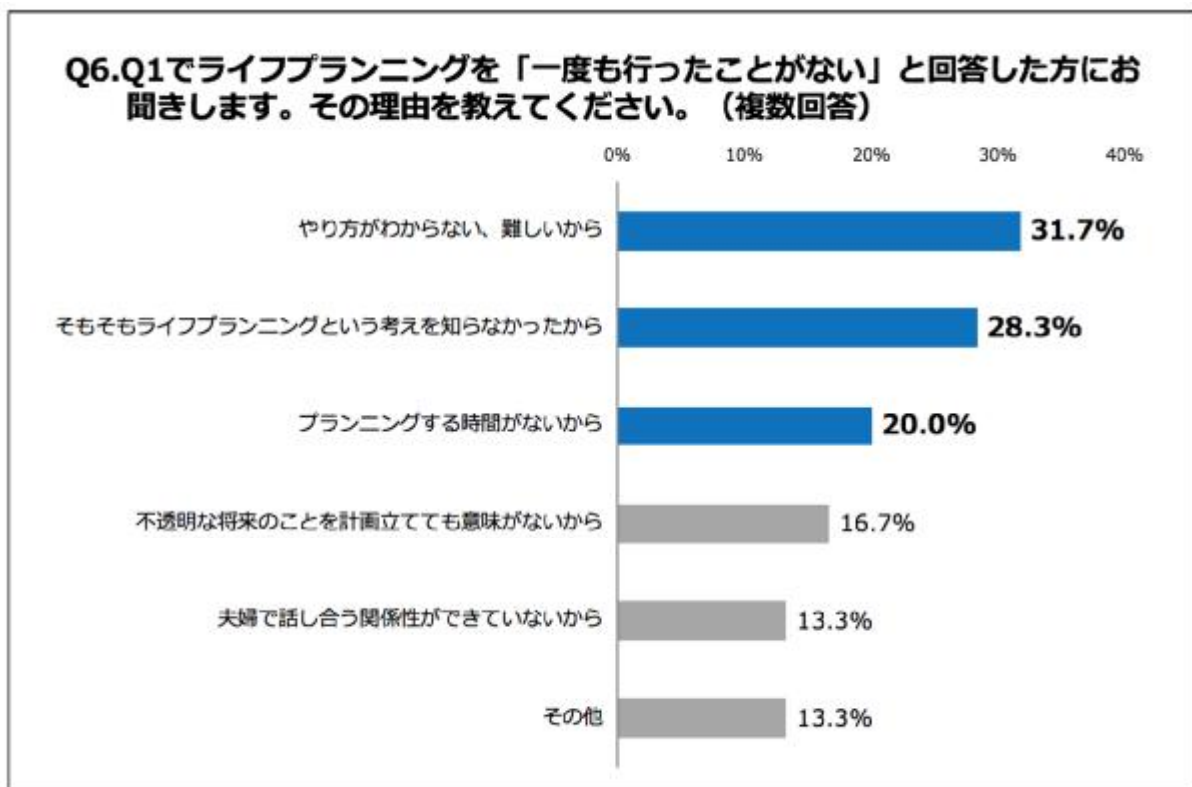
<自由回答・一部抜粋>

- ・47歳：年金制度の崩壊
- ・41歳：老後の貯金を貯めるため
- ・49歳：年金があてにならない
- ・48歳：ライフプランがなければ未来が描けない
- ・43歳：将来どれくらいのお金が必要か、よくわからない為
- ・48歳：老後、子供の世話になりたくないから

Press Release

▶ライフプランニングを行わない理由として、約 3 割が「やり方がわからない、難しいから」と回答

Q1 でライフプランニングを「一度も行ったことがない」と回答した方に「Q6.その理由を教えてください。(複数回答)」(n=60) と質問したところ、「やり方がわからない、難しいから」が 31.7%、「そもそもライフプランニングという考えを知らなかったから」が 28.3%、「プランニングする時間がないから」が 20.0%という回答となりました。



- ・やり方がわからない、難しいから：31.7%
- ・そもそもライフプランニングという考えを知らなかったから：28.3%
- ・プランニングする時間がないから：20.0%
- ・不透明な将来のことを計画立てても意味がないから：16.7%
- ・夫婦で話し合う関係性ができていないから：13.3%
- ・その他：13.3%

他にも「後回しにしてしまっている」「お金の話は苦手だから」の声

Q1 で「一度も行ったことがない」と回答した方に「Q7.Q6 で回答した以外に理由があれば、教えてください。」(n=45) と質問したところ、「後回しにしてしまっている」や「お金の話は苦手だから」などの回答を得ることができました。

Press Release

<自由回答・一部抜粋>

- ・48歳：一切の余裕がないので
- ・43歳：後回しにしてしまっている
- ・49歳：まだ先と思っている
- ・48歳：子育てに忙しく経済的にも余裕がないことからまだ、将来のことを考えられない
- ・41歳：お金の話をするのが気まずいから。
- ・47歳：お金の話は苦手だから
- ・34歳：話し合ったとしてもお金などの将来が不安なため、意味がないと半ば互いに諦めていたから。

先が見えない不安定な状況が続くなか一層の不安を抱える方も多く、無事にコロナが収束したあとも、今までと違った暮らしが私たちを待っているでしょう。今後の人生における選択によってお金の見通しは大きく変わりますが、まずはご自身やご家族が実現したい「ライフプラン」がどういうものなのか、おうち時間が増えた今、じっくりと考えていただく対策をすべきところも明確になるかも知れません。

<ブロードマインドについて>

『私たちは金融サービス業として革新を起こし続け、自分らしい未来を歩む人々が溢れる世界を創る』というミッションを掲げるブロードマインドは、特定の金融機関に属さず、保険・投資信託・債券、住宅ローンなど国内 50 社以上の幅広い金融商品を取り扱い、主に個人のお客様に対して保険の見直し・家計相談・相続対策・不動産コンサルティング、法人の財務基盤強化など、様々なお金に関するニーズにワンストップでお応えするフィナンシャルパートナーサービスを提供しています。

金融業界において保険代理店業・住宅ローン代理業・金融商品仲介業、加えて宅地建物取引業のライセンスを 1 社単独で有する企業は国内で当社のみです。（2020 年 12 月現在当社調べ）

お問い合わせ先

経営企画室 広報担当：冨永 (mobile：080-4754-5395)

☎：03-6675-7748 / ✉：bm-pr@b-minded.com